

地区市民センターや工事説明会での 「雨に強いまちづくり」のPR

◇「雨水浸透ます及び貯留タンク」の普及PRをおこないました。

塩浜地区市民センターにて



戸建住宅に適用できる雨水貯留浸透施設のご紹介

施設	概要・特徴	設置コスト・維持管理
<p>○浸透枳</p>	<p>(概要・特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ますの底面及び側面を砕石で充填し、集水した雨水を地中に浸透させる施設。 ・多孔型コンクリート製やポーラスコンクリート製、軽量で取り扱いが容易なプラスチック製がある。 ・円形や角形のものがあり、本体は内径15～50cm程度のもが多い。 ・限られたスペースに比較的簡単な工事で設置できる。 ・家の新築・改築のときに配管工事と併せて設置すると費用が軽減できる。 	<p>(設置コスト) ※2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料費と設置費を含んだコストは、浸透枳で3万円～15万円/基)となる。 ・既存枳を浸透ますに交換する場合には既設枩すの処分費が別途必要となる。 <p>(維持管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ます内の土砂や落ち葉などを定期的に清掃することが必要となる。
<p>○貯留タンク</p>	<p>(概要・特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設の雨樋に取水継手を取り付けて、タンクに雨水を貯留する施設。 ・プラスチック製やステンレス製のタンクなどがある。 ・一般家庭用は200リットル程度が主流であるが、1,000リットル以上の大型タンクもある。 ・溜めた雨水は、雑用水(樹木への散水など)として利用でき、水道代^{※1}の節約になる。 <p>・設置スペースはほとんど必要なく、比較的簡単な工事で設置できる。</p>	<p>(設置コスト) ※2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料費と設置費を含んだ費用は、200リットル/基3万円～5万円程度。 <p>(維持管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを除去するフィルターやタンク内に溜まった泥等を排除する排水口(ドレンコック)を設ければ、メンテナンスは簡単である。

※1 家庭で散水等に使う水は、1ヶ月2～4 m³程度といわれています。このようなケースだと1年あたり、3,000円～6,000円程度の節約が期待できます。(汲み上げポンプの電気代含まず)

※2 設置コストについては、材料費等に大きく影響をうけるので目安としてください。

■お問い合わせ先
 四日市市 都市整備部河川排水課 TEL: 059-354-8216
 上下水道局経営企画課 TEL: 059-354-8369

地区市民センターや小学校などに 「雨水浸透ます及び貯留タンク」を設置しました。

- 地区市民センターや小学校などにPRを兼ね「雨水浸透ます及び貯留タンク」を設置しました。
- 地区市民センターなどの公共施設14箇所と小学校9箇所を設置してあります。

大谷台小学校にて【雨水貯留タンク】



	浸透ます	貯留タンク	
公共施設	八郷地区市民センター	八郷地区市民センター	
	常磐地区市民センター	常磐地区市民センター	
	塩浜地区市民センター	塩浜地区市民センター	
	富洲原地区市民センター	富洲原地区市民センター	
	下野地区市民センター	下野地区市民センター	
	海蔵地区市民センター	海蔵地区市民センター	
	三重地区市民センター	三重地区市民センター	
	川島地区市民センター	川島地区市民センター	
	内部地区市民センター	内部地区市民センター	
		羽津地区市民センター	富田地区市民センター
	楠総合支所	楠総合支所	
	あさけプラザ	あさけプラザ	
	納屋プラザ	納屋プラザ	

	浸透ます	貯留タンク
小学校	大矢知興譲小学校	大矢知興譲小学校
	大谷台小学校	大谷台小学校
	八郷西小学校	八郷西小学校
	羽津北小学校	羽津北小学校
	高花平小学校	高花平小学校
	泊山小学校	泊山小学校
	笹川東小学校	笹川東小学校
	常磐西小学校	常磐西小学校
	桜台小学校	桜台小学校

「雨水貯留タンク」と「雨水浸透ます」 の設置写真

楠総合支所にて【雨水貯留タンクと雨水浸透ます】



川島地区市民センターにて【雨水浸透ます】



下水道工事説明会での 「雨に強いまちづくり」のPR(1)

◇下水道工事説明会で「雨に強いまちづくり」のPRとして、不要浄化槽の有効利用(貯留槽化)のお願いをしました。



下水道接続で不要となった浄化槽を利用して雨水を利用しましょう!

■ 公共下水道に接続するにあたって、使用されていた浄化槽が不要になります。
一般的には撤去や埋め殺しの方法によって処分されますが、浄化槽の程度によっては、雨水貯留タンクとして再利用することができます。
また、水中ポンプ等でくみ上げれば散水用として利用できます。

■こんな効果が期待できます。



☆節水効果

一般家庭(使用水量11~20 m³/月の場合)で散水・洗車に使う水は、1ヶ月2~4 m³程度とされています。

このようなケースですと…
1年あたり、3,000~6,000円程度の節約が期待できます。

(参考です)

129.15円(上水道料金表より)×(2~4)m³×12ヶ月=…

☆治水効果(流出抑制効果)

近年、急速な宅地化が進み、田畑が少なくなってきたため、集中豪雨時には、以前より早く、かつ一度にたくさんの雨水が河川へ流れ出るようになってきました。

このように不要となる浄化槽を転用して貯留槽にすることは、雨水流出抑制することにつながり、ゲリラ豪雨対策に効果があるとされています。

下水道無料相談会での 「雨に強いまちづくり」のPR

◇下水道無料相談会で、パンレットを配布し、東海豪雨から10年を振り返って「雨に強いまちづくり」の啓発活動をおこないました。



平成22年10月2日 ジャスコ四日市尾平店にて

